

# 2024滋賀国体問題を考える

## ムダを無くしてコンパクトな国体を

### 米原市民報

日本共産党米原市議団  
 清水隆徳 Tel.52-1969  
 藤田正雄 Tel.55-1128  
 太田幸代 Tel.54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

7月23日ひこね文化プラザにおいて「明るい滋賀県政をつくる会」主催で市民フォーラムが開催され滋賀国体問題が取り上げられました。立命館大学の権学俊教授の「なぜ国民体育大会が問題なのか」と題する講演と県会議員や市会議員の特別報告、市民の声が出されました。彦根市が主会場となることによって、県財政のみならず彦根市財政にも大きな影響を与えることが報告されました。また「施設整備費の削減を求める署名」が提起されました。

あなたは今年どの国体が開催されるのかご存知ですか。

そのように問いかけられ、会場の誰もが答えられませんでした。これが今日の国体の現状です。以下が講演の概要です。

#### 国体の歴史のしるし

- ◎「戦後復興と民族再建」を確認するイベントとして機能していた。
- ◎高度経済成長期においては「国体」を通じて「地域開発」がすすめられた。
- ◎現在は競技会としての魅力を失い、関心や人気は薄く、マスコミも報道しない。

#### 弊害・問題点のしるし

- ◎現在は県のお祭りにすぎない国体に、地域開発を狙って、開催費用がばく大となっている。
- ◎そのことにより、住民生活関連予算が削られ、福祉が後退している。
- ◎天皇杯（男女総合優勝）を開催県が獲得し続けている。
- ◎国体開催に向け教育現場で生徒たちの動員や種目強化が必要となり教育現場が歪められる。

な運営を求める緊急決議がなされた。

#### 滋賀県の開催経費

- ◎日本共産党の杉本県議より現在422億円から600億円が想定されており、他の府県と比較して突出している。
- ◎県の財政見通しでは、2018年以降毎年150億円の財源不足が見込まれている。
- ◎国体経費は1世帯で16万円の負担となり、福祉が削られることは明らかである。
- ◎栗東新幹線駅は200億円の地元負担について県民からの反対意見で、住民投票が行われ否決された。それを上回る額であることが報告された。

#### 彦根市への影響

- ◎彦根市の山田市会議員より特別報告があり、彦根の県立競技場が、野球場を除いて、メイン会場として改築されるため市民体育センターが取り壊され、64億円をかけて市民体育館を市街地から

#### 特別報告する杉本県議員



ら離れた場所につくるなど彦根市政にも大きな影響が出ていることが報告されました。

◎国体のあり方を考える時、今こそ立ち止まって考えるべきと報告されました。

別表・近年の国体開催経費 滋賀県民調査

開催年	開催県	人口(万人)	開催経費(億円)	(内)施設整備費(億円)	(内)大会運営費(億円)	(内)競技力向上費(億円)
2013	東京	1,372	未公表	—	—	—
2014	長崎	136	185	108	51	26
2015	和歌山	94	303	201	66	36
2016	岩手	125	118	25	75	18
2017	愛媛	136	250~300億円以下	—	—	—
2018	福井	77	227	125	62	39
2024 (想定)	滋賀	141	422~601	332~496	60~70	30~35

2019年茨城、2020年鹿児島、2021年三重、2022年栃木、2023年佐賀、それぞれ簡素な国体を目指している

雑感 「記録にない」「記憶にない」「覚えていない」こんな言葉のオンパレード。明かにウソ。子どものとき正直であれと言われ続けた。全体科学省の公務員の気概はどこに行ってしまったのか。道徳で何を教える文部科学省の公

#### 開催費用問題

- ◎2002年高知大会では「簡素化」の改革を実施し、これ「天皇杯」は初めて高知以外が獲得した。
- ◎全国知事会で国体の「簡素化」と「自主的・弾力的」